



☆目指す子ども像の実現に向けた学びのイメージ☆

京丹後市の目指す子ども像

将来に夢と希望をもって生き生きと学ぶことのできる子ども

豊かな人間性

確かな学力

たくましい心と体

◆京丹後市保幼小中一貫教育推進基本計画（各期の指導目標）

各教科等において育成を目指す資質・能力の三つの柱（何ができるようになるか）

生きて働く
知識・技能

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善（どのように学ぶか）

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

- ◆京丹後市が目指す『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善による確かな学力の育成について
- ◆『主体的・対話的で深い学び』による授業改善の具体について

全ての子どもたちの可能性を引き出す

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する

子どもたちの多様な個性を最大限に生かす

個別最適な学び

一体的に充実

協働的な学び

「指導の個別化」

児童生徒が自らに合った学習の進め方を考えることができるよう、教師による指導を工夫する。

「学習の個性化」

児童生徒が自ら適切に学習課題を設定し、取り組んでいけるよう、教師による指導を工夫する。

児童生徒一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出していくようにする。

異学年間の学びや他の学校の児童生徒との学び合い、地域の方々や多様な専門家との協働なども含む。**（多様な他者と協働）**



ICTを最大限活用する

□ICTを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。

□オンラインによるタブレットの持ち帰り学習を効果的に進め、自主的・自発的な家庭学習の習慣化につなげる。